

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】 第 7 部門第 3 区分  
【発行日】 令和 5 年 11 月 24 日 (2023.11.24)

【国際公開番号】 WO2022/185784  
【出願番号】 特願 2023-503630 (P2023-503630)

【国際特許分類】  
H 0 4 L 2 5 / 0 3 ( 2 0 0 6 . 0 1 )  
H 0 4 L 2 5 / 0 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

【 F I 】

H 0 4 L 2 5 / 0 3            Z  
H 0 4 L 2 5 / 0 2            V

10

【手続補正書】  
【提出日】 令和 5 年 7 月 12 日 (2023.7.12)

【手続補正 1】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 3 9  
【補正方法】 変更  
【補正の内容】  
【 0 0 3 9 】

20

第 2 可変抵抗部 V R 2 の他端は、N M O S トランジスタ Q 7 のドレインに接続される。N M O S トランジスタ Q 7 のソースは、プルダウン抵抗 R 2 の他端及び端子 G N D に接続される。N M O S トランジスタ Q 7 のゲートに定電圧であるバイアス電圧  $V_{b\_n\_2}$  が供給される。したがって、N M O S トランジスタ Q 7 は定電流源となる。端子 C A N L が端子 V C C に供給される電圧以上の電圧に短絡した場合、N M O S トランジスタ Q 7 は、端子 C A N L から端子 G N D に流れる電流を制限する。これにより、端子 C A N L から端子 G N D に流れる過電流を抑制できる。

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 4 8  
【補正方法】 変更  
【補正の内容】  
【 0 0 4 8 】

30

図 8 は、制御部 C N T 1 の一構成例を示す図である。なお、ここでは説明を簡単にするために、第 1 可変抵抗部 V R 1 が P M O S トランジスタ M 1 ~ M 6 0 ではなく P M O S トランジスタ M 1 ~ M 4 を備え、第 2 可変抵抗部 V R 2 が N M O S トランジスタ M 1 0 1 ~ M 1 6 0 ではなく N M O S トランジスタ M 1 0 1 ~ M 1 0 4 を備えることとする。

【手続補正 3】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 5 6  
【補正方法】 変更  
【補正の内容】  
【 0 0 5 6 】

40

図 9 は、制御部 C N T 1 の他の構成例を示す図である。なお、ここでは説明を簡単にするために、第 1 可変抵抗部 V R 1 が P M O S トランジスタ M 1 ~ M 6 0 ではなく P M O S トランジスタ M 1 ~ M 4 を備え、第 2 可変抵抗部 V R 2 が N M O S トランジスタ M 1 0 1 ~ M 1 6 0 ではなく N M O S トランジスタ M 1 0 1 ~ M 1 0 4 を備えることとする。

50